

# 一主婦からの新発田市政通信

皆様これで良いですか

発行者 青木三枝子（市政を考える会）

新発田市御幸町 3-1-21

TEL 0254-26-8334

平成 25 年 10 月 5 日 第 7 号

9 月議会最終日、本会議での市長の行政報告が、長谷川健吉議員の採決棄権以外、他議員の賛成多数で承認されました。今後も駅前複合施設計画は進められて行くことになるでしょう。しかし、新庁舎建設・駅前複合施設建設を含む中心市街地活性化基本計画案には多くの問題があります。それらに加え、塩尻えんぱーくの見学に行ってきましたので、その事もお伝えします。

## 1 新図書館を誇りとすることはできません

市長の行政報告に対して、青木泰俊議員から、市の観光案内所は駅前複合施設建設予定の行政棟に置くべきであり、賃貸料を支払ってまで民間棟に置く必要はないのではないかと質問がありました。市長からは、観光案内所と共にコンビニやカフェ等を入れる予定であり、これらを行政棟に置く事は馴染まないと回答がありました。今後、委員会で検討される予定です。

複合施設を既にある市有地に建設すれば、民有地からの固定資産税として年間約 200 万円が市に入り、その複合施設に入る予定のカフェやコンビニを経営する民間業者からも賃貸料が市に入ってきます。しかし、無理に図書館を駅前に持って来ようとする結果、複合施設建設に有利な場所にある市有地を価値の低い民有地と交換し、補助金を出した上、民間が建設する賃貸マンション階下に観光案内所を置くという事になってしまうのでしょうか。市長及び民有地所有者との利害が一致した結果が現在進行中の駅前複合施設建設ではないかと思えます。

歴史ある現図書館がありながら、図書館を利害や思いつきで性急に建設する事の弊害が見えてきます。多くの市民の声に耳を傾け知恵を出し合えば、税金を無駄遣いせず、図書館の建設場所を含め、中心市街地活性化の為のより良い方法が見つかるはずです。どんなに機能が充実した図書館が始められようと、利害の上に建設される新図書館を市民の誇りとすることはできません。この新図書館に坪川洵平氏の銅像とプレートを置く方向と聞いていますが、私は賛成できません。新図書館はクリスチャン坪川氏の精神とはあまりにもかけ離れていると思えるからです。

## 2 駐車場は足りませんか・渋滞しませんか

平成 26 年度開始予定の新庁舎本体工事に備え、地域交流センターの支障物撤去の本格的な工事が来月 11 月から始まります。それに伴い駐車場が利用出来なくなります。そのような時に、きらやか銀行西新発田支店が新発田支店に移転して来る事を知りました。この移転により、新発田支店の来訪者が今後、増えることが予測されます。現在、この銀行に来訪される方は、銀行駐車場が足りない為、地域交流センター駐車場を利用される場合があると聞いています。

新庁舎が移転して来た場合、新庁舎来訪者やセンター利用者の方々の駐車場は本当に足りるのかと危惧します。

きらやか銀行新発田支店横の道路は、新庁舎の車の出入口の一つにつながる予定です。また、各銀行前の道路では、銀行利用者の路上駐車が目立ちます。今後、公共交通バス運行回数も増える可能性がある事からも、新庁舎周囲道路の交通渋滞が増すと予測します。

新庁舎と駅前複合施設は、このまま計画が進められると平成 27 年度末に完成予定です。通勤時間帯の渋滞は勿論、冬場の隣接駐車場の不足や交通渋滞が大きな問題になるのではないのでしょうか。

## 3 塩尻エンパークを見学しました

塩尻えんぱーくは、人口約 6 万 6 千人、中心市街地に位置する図書館、子供支援センター、ハローワーク、商工会議所等が入る地下 1 階地上 5 階の複合施設です。知り得た情報の一部をお伝えします。

注【】内は新発田市立図書館の情報

- ① 複合施設構想から着工までに約 5 年【約 1 年の予定】、当初、図書館を活性化の為に利用する事に対する反対運動が起こり、市民の理解を得る為の話合いに多くの時間がかけられた。
- ② 図書館全体の予算は年間約 1 億 6 千万円【約 6 千万円】、うち図書購入費は年間約 3 千万円【約 1 千万円】。
- ③ 収納蔵書数は約 46 万冊【約 24 万冊】、開架図書約 26 万冊【約 16 万冊】。
- ④ 700 台駐車可能な隣接駐車場がある【新図書館隣接駐車場約 100 台の予定】。駐車料金は図書館利用者だけを区別するのは困難であり、実質無料
- ⑤ 施設全体の来館者は年間約 60 万人、図書館来館者は約 50 万人（図書館が他部門への通路にもなっている為、実際の図書館来館者数は不明である）。本貸出し者数は延べ人数で年間 13 万人、市民一人当たり本貸出し数は年間 10.1 冊【2.7 冊】。
- ⑥ 図書館職員 35 名【26 名】、館長を含め正職員 5 名【4 名】、嘱託職員 18 名【14 名】、臨時職員 12 名【なし】、パート職員なし【8 名】、全体で 25 名【6 名】が司書資格を持つ。
- ⑦ 市民二人からの直接の聞き取りでは、図書館が出来てよかったとの応答があった。

機能面は充実していると思われる塩尻市の図書館は、屋内外に緑一つ見かけない、ショッピングモールのような建物の中にありました。まさに機能重視の図書館であり、違和感を覚えました。また、市民参画、予算面、駐車場、施設内容等、塩尻市とは大きく異なる新発田市駅前複合施設計画案は全ての面で中途半端であり、中心市街地活性化に繋がらない事を再認識しました。